

# 興道会だより

米沢仏教興道会 〒992-1443 米沢市大字笹野170番地 花の里内 TEL0238-38-3328 FAX0238-38-2198 発行責任者/玉木龍晃



「隣保館」現在の養護老人ホーム星の村の前身



上記写真拡大

## 健全運営とは？

我が国に充滿している不況の風に、心を痛める今日この頃です。経済とは違う領域で幸福を説く仏教徒としても感じざるを得ません。  
お釈迦様は、「みょうごの尾を愛するが如し」と喩え話をされました。「みょうご」とはヤクのこと、チベット・インドにいる牛の仲間、尾の毛が特に長く美しいのだそうです。

ヤクにとって尾がなくても生活に支障のないものなのですが、美しいがゆえに人間に狙われる。自分にとって役に立たないものの為に、不幸を招くと喩えられました。

日本の顔ともいえる企業・日本航空破綻、無駄な公共事業等を報道で知るかぎり、つまらない見栄やメンツ、本来ならば要らないもののために破綻していく経済状況は、人間の業を深く洞察したお釈迦様の仰るとおりに思えます。

米沢仏教興道会は、先輩たちの辛苦の上で、活動事業にご理解をして頂ける職員の皆様のおかげで成り立っています。社会の要請に応え、仏教の理念に事業展開していくことを願ってやみません。

平成二十二年三月一日

米沢仏教興道会 会長 玉木 龍晃



## 平成22年度 事業計画(案)

4月 正会員会総会

6月12日(土) 第86回 花まつり

■時間/14:00~ 於:米沢市市民文化会館

10月 秋季戦没者慰霊祭

12月中旬 歳末助け合い募金(ののさま募金)

2月上旬 正会員会・忘年会

平成23年

3月1日 機関紙「興道会だより」第9号発刊

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。

## 事業報告

平成21年度

■とき/平成21年4月14日(月) ■時間/17:00~  
正会員会総会 ..... 於: 志ん柳

■とき/平成21年6月6日(土) ■時間/14:00~  
第85回花まつり ..... 於: 伝国の社

■とき/平成21年9月8日(火) ■時間/17:00~  
正会員会 ..... 於: 志ん柳

・第85回花まつり決算報告

■とき/平成21年10月27日(火)  
秋季戦没者慰霊祭 ..... 於: 成就院

■とき/平成21年12月15日(火)  
歳末助け合い募金(ののさま募金) ..... 於: 本部プレハブ

■とき/平成22年2月4日(木) ■時間/17:30~  
正会員会新年会 ..... 於: 招湯苑

■とき/平成22年3月1日(日)  
機関誌「興道会だより」第8号発刊

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。

## 社会福祉法人への道

米沢仏教興道会 教化部長 越中谷 恒道



米沢仏教興道会は明治二十年に創設され、今年で百二十四年目を迎えました。昨年は全国社会福祉協議会より、「貴法人は幾多の困難を乗り越え長きにわたり多くの人々を支えもって我が国社会福祉の増進に多大な貢献をされました云々」又、米沢市から平成元年に「貴会は明治二十年四月創設以来百余年の長きに亘り社会福祉増進に多大な貢献をされた幼児保育事業を第一歩とし生活困窮者救済活動、母子保護、養護、授産等の施設設置をはじめ数々の保護事業、隣保活動に挺身され社会福祉の充実発展に寄与されました云々」の表彰を受け、その表彰状が、特別養護老人ホーム「花の里」の応接室に掲げられています。数々の輝かしい業績の中で、ここでは隣保活動についてふれたいと思います。辞書をひもとくと「近隣地域における福祉に欠けた住民に対し、無料又は低額な料金で施設を利用させるなど、地域住民の改善、向上を図るための事業を行う施設を隣保館という」と出てきます。

我が興道会では、大正十四年神明

このように、永年に渡り幾多の困難を乗り越え、社会福祉の充実発展に寄与された先人の方の情熱や努力を変わらぬ私達も引き継いでいきたいものです。

# 第四回 観音霊場巡り

二十七番 千手観音 北寿町 禪透院

あらとふと

みだをとのふる こいにつれ

あきのしらべも のりとこそさけ



三十番 聖観音 林ノ町 北野庵(現・昌願寺)

みちしばの

つゆふみわけて まいるみの

こころにかゝる ちりだにもなし



# 秋季戦没者慰霊祭

今年の秋季戦没者慰霊祭は、米沢市遺族共助会との共催により十月二十七日(火)成就院様(東寺町)を会場に開催されました。沢山のご参列をいただき無事終了いたしました。



# 興道親和乳児園 のご紹介

今年度四月より興道親和乳児園(本町二丁目)の園長としてご活躍中の山口武揚氏(高岩寺)に、興道親和乳児園の紹介と新園長として今年度を振り返ってどのような年であったか、また今後の抱負についてお話を伺いました。今後益々のご活躍をご期待いたします。



## ◎園の紹介

興道親和乳児園の現在の建物は昭和五十年に建設され、その後増改築を繰り返して現在に至っております。定員四十名(現在五十三名)の生後二ヶ月から二歳までの小さくてかわいい子ども達をお預かりしています。職員は二十一名で、幅広い年齢層ですが明るく元気なスタッフがそろっています。

小さな子ども達ばかりですので、まずは子どもの安心・安全な環境を整え、さらに乳児期の人間形成の基礎を培う重要な時期なので、質の高い保育を目指し職員一同日々努力しています。そして何よりも家庭との連携を大切に、子ども、保護者、職員の強い信頼関係を作っています。

## ◎今年度を振り返って

慣れない園長職で、あわただしくあつという間に一年が過ぎました。始めの頃は新年度の書類や事務処理に追われ、毎日が必死でしたが、最近やつと周りを見るゆとりが出てきました。それでも試行錯誤の毎日です。

やはり園長として、果たす役割の重要性と色々な場面で責任の重さを感じます。特に子どもの怪我や健康面には気がつかれます。幸いに大きな事故・怪我もなく過ぎようとしています。さらに猛威を振るった新型インフルエンザの感染も最小限に終わりました。これからは小さな子どもの命をしっかり見守っていきたいと思います。

## ◎今後に向けて

社会の変化と共に、保育所が支援の対象としなければならぬ領域は、確実に広がっていると思います。保育の内容や質の向上はもちろんです。虐待問題、苦情処理、危機管理、子どもの人権など社会的な責任など多くの課題があります。そのような中、乳児園として何が出来るのか。我々のなすべき役割をもう一度再確認していく必要があると思います。

これからも園長としてどうあるべきか、自問自答の日々が続くと思いますが、あまり肩肘はらず自然体でやっていければと考えています。(心ゆとりを・・・)

# 歳末募金御礼 ののさま募金

去る十二月十五日(火)本部にて歳末募金(ののさま募金)の受付をいたしました。特に今年度は不況といわれるなか、御寺院様や法人施設職員より沢山の浄財を頂戴いたしました。今回は仏青の歳末街頭鉢の浄財と併せて、十二月二十四日(木)米沢市社会福祉協議会を通じて歳末たすけあい募金に寄付いたしました。皆様のご厚情に御礼申し上げます。

金額一一一、五七五円

